

## 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

## 大本山總持寺監院 仁叟寺住職 年頭挨拶



癸卯

令和5年

## 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈祷・年賀受  
 1/4~1/7 年始挨拶  
 1/10 年賀寺例  
 2/3 大節分会  
 2/15 釈尊涅槃会  
 3/12 大般若会/大施食会  
 3/18~3/24 春季彼岸会  
 3月下旬 観桜供養祭  
 4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会  
 7月下旬(一泊二日)  
 第41回子供禪の集い  
 8/10 中元寺例  
 8/13~8/16 盂蘭盆会  
 9/20~9/26 秋季彼岸会  
 10月 檀信徒研修旅行  
 12/8 釈尊成道会  
 12/10 歳暮寺例  
 12/31 除夜会

- ※毎週水曜日 定例坐禅会  
 ※隔週水曜日 梅花講稽古  
 ※隔週土曜日 華道教室  
 ※毎月最終土曜日 ヨガ教室

未だ続く感染症禍ですが謹んで新春の御挨拶をさせていただきます。

瑩峨御両尊大遠忌も来春には愈々ご正當七百回忌を迎えることになりました。長きにわたり物心両面におきまして多大なご協賛ご法愛を継続して頂戴いたしてお有り有難き限りであり、厚く感謝申し上げます。

本山も三年にわたるコロナ禍で皆さまと同様苦難の時期を経て令和4年9月故江川禅師さまの本葬、10月石附禅師さまの晋山引続き御征忌と一年をかけてお陰さまにて無事円成することができました。紫雲臺猊下ご総覧のもと盛田副貫首老師、青山西堂老師にもそれぞれご教導賜り、修行僧とともにご本山日常底が如常動き出しております。

今年には全国各管区及び海外を含めての予修法要が執り行われ令和6年春4月の、開祖瑩山紹瑾禅師七百回大遠忌へと進んでまいります。

混迷する価値観と激変する宗教事情の内において、瑩山禅師さまの御示しになられた正伝の仏法を広く世に示して、人々を救い導いてこられた、その御心を高く掲げて難値難遇の大遠忌法要に向けて禅師さまのお言葉通り「一味同心」全山一如にて報恩行に取り組んでまいります。

全国の御寺院各位をはじめ、宗務庁、宗務所、関係諸団体各位には一人でも多くの安居者の上山をお勧めいただき、更に予修法要・本法要・慶讃法要に、多くの皆さまに本山にご参拝をいただきたく今後も引き続き格段のご法助ご協力を懇願いたすものであります。

末筆恐縮ですが宗門寺院各位の益々の山門隆昌、檀信徒皆さまの安穩多幸を心より祈念申し上げます。合掌



## 大本山總持寺參拜研修旅行

昨年10月23日、かねてより当山及び護持会にて計画されていましたが大本山總持寺様への参拝研修旅行が修行されました。コロナ禍の中でしたが、感染症予防対策を十分に施し、バス2台60名で伺って参りました。特に本年は、大本山總持寺監院として宗門の重職を担う仁叟寺渡辺啓司住職への激励を兼ね、多くの方々に参加していただきました。

大本山總持寺では、大祖堂にて参加者の先祖供養法要を監院老師自らが御導師として法要をおつとめいただきました。その後、相見の間に於いて監院老師と親しく面談。その席で赤紫恩衣を仁叟寺總代会より祝賀として贈られ、目録を矢島正義總代長よりお渡しいたしました。日本一の大黒尊天をお詣りし、修行僧が作務を行う百間廊下など諸堂拝観をご案内いただき、昼食は精進料理の御膳を頂戴いたしました。好天にも恵まれ、境内散策や昭和の大スター・石原裕次郎さんの墓参、宝物殿で開催された特別展を拝観。帰路にはアクアライン海ほたるにも立ち寄り、よき研修旅行が行えたことと思います。

なお恒例の仁叟寺研修参拝旅行は、今秋も予定をしております。奮ってのご参加を、お願い申し上げます。



總代会より赤紫恩衣が贈呈された



監院老師自らが御導師をつとめ大祖堂にて先祖供養法要を修行



修行僧の案内にて諸堂拝観(百間廊下)

写真撮影  
大澤竹治 世話人



昼食は精進料理の御膳をいただく



Page 2 大祖堂前での集合写真



曹洞宗大本山總持寺大祖堂

## 地区避難訓練報告～高崎市指定避難所として～



◎十月十六日 避難訓練  
◎八月二十一日 避難訓練



仁叟寺は、平成25年に高崎市指定避難所となりました。以降、地元第13区を中心とした地域や校区で防災研修や避難訓練を行って参りました。昨年はコロナ禍で休止しておりました避難訓練を3年振りにつとめ、第13区自主防災組織により8月21日に行いました。また第14区自主防災組織による避難訓練は、10月16日に行われました。避難訓練では、地元消防署の職員さんより、防災講話やAEDの実施講習会等もご指導いただきました。

それぞれの自主防災組織の避難用品等の備蓄品は、仁叟寺内に収蔵庫を設けております。綿密なご対応、またご準備いただきました神宮光信区長、落合喜久夫区長はじめ地区担当役員各位には大変お世話になりました。

コロナは災害を待ってくれないという言葉もあります。備えあれば憂いなし、備災について家族や地域の皆様方と話し合いを行っていただければ幸いです。



### 大本山總持寺副貫首 盛田正孝老師 御来山



昨年7月6日、仁叟寺に大本山總持寺副貫首 盛田正孝老師がご来山いたしました。群馬県での石附周行紫雲臺猊下の祝賀会に先立ち、当山にお立ち寄りくださいました。

老師は岩手県正法寺僧堂の堂長として修行僧を教化するほか、栃木県満福寺のご住職をつとめておられ、昨年春に大本山總持寺副貫首にご就任されました。

### 令和五年 回数表

一周忌	令和四年	二十三回忌	平成十三年
三回忌	令和三年	二十七回忌	平成九年
七回忌	平成二十九年	三十三回忌	平成三年
十三回忌	平成二十三年	五十回忌	昭和四十九年
十七回忌	平成十九年	百回忌	大正十三年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。  
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。  
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

## 「仁叟寺三大銘木」養生報告

仁叟寺三大銘木（群馬県指定天然記念物・カヤの木、高崎市指定天然記念物・モクの木、高崎市指定保存樹・五輪桜）の樹医による調査診察が、昨年夏に行われました。各々調査報告書がまとめられ、その結果にしたがい、カヤの木は群馬県にて、モクの木は高崎市と当山が協力、五輪桜は当山が負担し、それぞれ大切な樹木の環境保全のため、養生することとなりました。

カヤの木は、平成元年に大規模な治療を施し、現在実を着けるまで回復いたしました。30年以上経過し、改めて昨年11月に樹医による大掛かりな治療を行いました。五輪桜は、大雪の際に折れた幹の消毒等を行い、また境内墓所のヒガンサザクラも、カヤの木に合わせて治療をいたしました。

モクの木は、大規模な養生が必要とされるとの診断を受けました。気候変動著しい現代に於いて、倒木の危険性も指摘され、行政と協力し、治療を行うこととなりました。当山の大樹古木は、多くの関係各位の協力のもと、その環境保全につとめておりますこと、ご報告申し上げます。



樹医によるカヤの木の養生

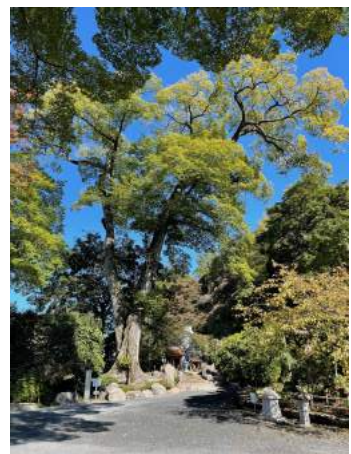
## 龍源寺人災被災についてのご報告

龍源寺墓所の人災による被災から丸三年以上経過いたしました。事件後に山の上部に長きに亘り不法投棄を行った多野造園土木株式会社と同社田中広幸代表、土地所有者であり親族の羽切吉胤氏よりの謝罪を受け、原状回復を約束した覚書をそれぞれ署名捺印の上、締結いたしました。しかしながら残念なことに、その約定を反故にされ、予期せぬ係争事となり現在に至っております。

公判では、土木工学の専門家であるE&Dテクノデザイン株式会社による実地検分の上、科学的根拠に基づく調査報告書も作成され、長き時間が経ちましたが、昨年12月22日ようやく第一審が結審いたしました。結果は、原告である龍源寺側の主張がほぼ認められた内容の判決となりました。こちらに非のない事案であり、当然の帰結となりましたことに一先ず安堵しております。

代理人を迎え、原告の被災者、檀家総代、石材店等関係者が龍源寺本堂に集う説明会や慰霊法要などは、既に14回も開催いたしました。また東京在住の墓地所有被災者の公判も昨年より始まりました。粛々と法に依り、墓地の原状回復を第一義に、寺檀一如となり歩みを前に進めさせていただきます。

仁叟寺モクの木



投棄物が露わになった様子(令和元年10月27日撮影)

本年2月3日の仁叟寺大節分会は、昨年と同様に文殊堂での御祈禱をつとめます。福豆や福餅はまかずに手渡しをする福配りを行い、子供には特別の福を用意する予定です。宜しくご理解いただきますよう、お願い申し上げます。祈念 コロナ収束

## 仁叟寺大般若会大施食会 ウクライナ演奏会

仁叟寺恒例の大般若会大施食会法要、  
本年は3月12日日曜日13時より修行  
いたします。本年は3年振りに清興を行  
います。

法要に先立ちまして、ウクライナの民  
族楽器バンドゥーラの第一人者である奏  
者、カテリーナさんにご来寺いただき、  
演奏会を行います。また合わせて、ロシ  
アの軍事侵攻を受けているウクライナの  
平和と復興支援、何よりも戦争の終結を  
大般若会大施食会法要とともに祈念いた  
します。

カテリーナさんはウクライナのチェル  
ノブイリ原発の事故により避難し、のち  
来日。現在は日本を拠点に、バンドゥー  
ラ奏者として国内外で精力的に活躍され  
ております。

またとない機会であり、江戸時代から  
続く施食供養会の趣旨  
にも合う清興でござい  
ます。是非、恒例の伝  
統行事とあわせ、足を  
お運び、耳を傾けてい  
ただければ幸いです。



### Kateryna カテリーナ

ウクライナ民族楽器 "バンドゥーラ" 奏者

ウクライナ・プリピャチ生まれ  
(チェルノブイリ原子力発電所から2.5km離れた町)

生後30日の時にチェルノブイリ原発事故に被災し、  
一家は町から強制退去させられる。

6歳の時にチェルノブイリ原発で被災した子供たちで  
構成された音楽団「チェルボナカリーナ」に入団後、  
海外公演に多数参加。

日本に何度もコンサートに招聘され、その時に日本の  
素晴らしいさに感動し、19歳の時に音楽活動の拠点を  
東京に移す。

現在、日本に数少ないバンドゥーラ奏者の1人として、  
国内外のさまざまなコンサートで公演活動を展開中。

**バンドゥーラは、  
私の故郷・ウクライナの民族楽器です。**

ツィターやリュートの特徴を併せ持ったような構造と音色で、コサック時代を中心に  
目の見えない人によって演奏されてきました。もしかすると、日本の琵琶法師とウク  
ライナのバンドゥーラ奏者は、共に音楽の青葉が似ているかもしれません。

バンドゥーラの起源は12世紀頃にさかのぼります。  
その後15-16世紀にはポーランドの王に、また、  
18-19世紀はロシアの宮廷に仕える専属の奏者  
によって演奏されました。

バンドゥーラは、およそ50  
から60の弦からなり、  
半音階で5オクターブの  
音域があります。  
本来はソスタルジックな  
音階を持つバンドゥーラ  
ですが、復興する楽曲に  
よって様々な世界を作り出  
すことができます。

日本ではあまり知られていない楽器ですが、ぜひ聴いてみてください。

カテリーナさんのホームページ  
<https://www.kateryna-music.jp>

about BANDURA

ウクライナ復興支援、戦争終結・平和祈念  
ウクライナ民族楽器演奏会『奏者カテリーナさん』  
大般若会・大施食会法要・護持会式典

## 各種教室について 坐禅会・梅花講・ヨガ教室

仁叟寺の坐禅会は、平成14年より欠かさず続いております毎週水曜日午後7時よりの定例坐  
禅会のほか各種団体組織による参禅会があります。コロナ禍により参禅会をされる団体は減少し  
ましたが、昨年より社会活動の回復の兆しと同様に坐禅会も増加傾向にあります。

梅花講は、隔週水曜日午後1時30分より稽古があり、寺族である渡辺恵津子梅花流一級詠範  
が指導しています。現在講員さんは20名ほどで、活動しています。全国大会や県大会も本年か  
ら再始動する予定であり、老若男女問わず入講を歓迎しております。

ヨガ教室は、毎月最終土曜日の午後4時より約  
一時間、本堂にて開催しています。令和元年秋よ  
り始まり、講師はヨガインストラクターのMIN  
AMI先生。参加費500円とヨガマットまたは  
バスタオル1枚で参加でき、初心者も歓迎です。

ほか草月流仁叟寺華道教室も随時開かれており  
ます。興味関心のある方は、当寺までお問合せの  
上、ご参加ください。



## 「仁叟寺もみじ山歴史古墳公園」環境整備報告



◎九月二十五日作業集合写真  
◎八月七日 作業集合写真



仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々のご協力をもって行ってあります高崎市の補助事業、里山元気再生事業が平成30年度末で期間満了となりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地に、モミジやサクラおよそ300本を植樹し、小沢昇様と矢島正義総代長により参道脇に多くの山野草や福寿草のほか、多くの方々より寄贈された紫陽花を植栽しました。

高崎市補助事業は既に終了いたしました。引き続き昨年6月5日、8月7日、9月25日の合計3回に亘り、総代人世話人有志にご協力いただき、下草刈りや篠竹刈り等の作業を行い、共に汗を流しました。有難うございました。

当地には、歴史を物語る古墳群も遺されており、現在高崎市教育委員会等の行政と共にその保全活動に取り組んでおります。境内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。関係各位のご尽力のもと、里山再生に相応しい「仁叟寺もみじ山歴史古墳公園」に向けた整備が、着々と進めております。引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 仁叟寺古墳群整備報告 ～山野草の径整備～



多胡坂まで整備された山野草の径

万寿屋先代社長様供養の為に新井順圭社長により建立された東屋は「万寿亭」と称し、一昨年夏に上原建築により施工されました。

また仁叟寺より万寿亭を経て多胡坂へと続く山野草の径が、昨年12月に齋藤興業施工により整備され、繋がりました。

山野草の径は、両側に関係各位より寄進されたアジサイのほか、小沢昇様が中心となり、カタクリ、キツネノカミソリ、彼岸花、紫蘭、レンゲショウマ、福寿草等の季節毎の花々が植えられ、彩りを添えております。

## 仁叟寺住職、大教師昇等 赤紫恩衣可被着



仁叟寺住職が、昨年6月に宗門上位となる教師資格である大教師の辞令を、翌7月には赤紫恩衣被着の許状を、曹洞宗管長 石附周行猥下より拝受いたしました。

## 当山東堂三十世重興 大澄隆司大和尚 三回忌及 当山東堂三十世寺族 故渡辺テル 七回忌法要



左 当山東堂三十世重興 大澄隆司大和尚の三回忌法要  
右 当山東堂三十世寺族 故渡辺テル 七回忌法要



仁叟寺東堂三十世重興 渡辺隆司大和尚の三回忌法要が、祥月命日である11月20日に、法縁ある神流町龍松寺住職 香西信昭老師を御導師として、仁叟寺本堂にて修行されました。コロナ感染症対策を十分に施し、御寺院様、総代人、親族来賓、梅花講ほか約60名ほどをお迎えし、荘厳に法要をおつとめさせていただきました。

また昨年は、仁叟寺東堂三十世の寺族の故渡辺テル七回忌に当たりました。東堂の三回忌に併せて七回忌法要を、甘楽町向陽寺住職 織田澤智幸老師を御導師に、つとめさせていただきました。当山の礎を築かれた三十世ご夫妻の年回法要を丁寧に執り行いましたこと、ご報告申し上げます。ご随喜いただきました関係各位に、改めて御礼申し上げます。有難うございました。

## 自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～

昨年12月1～2日に掛けて、東日本大震災被災地域である福島県は南相馬市に伺って参りました。今回も恒例となった物故者慰霊法要を南相馬市新祥寺様本堂に於いて修行。また適切な避難により「奇跡」とも称された浪江町立請戸小学校跡地等、震災遺構施設に伺い、改めて研修を行う貴重な機会を頂戴いたしました。

また奉仕作業は、新祥寺野田精顕住職と当山副住職ほか群馬県曹洞宗青年僧有志計10名で、被災地である南相馬市小高地区にて行いました。被災地での依頼区域にて、除草と樹木伐採、撤去作業等を福島県群馬県両県若手僧侶が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

早いもので本年3月11日が十三回忌となります。風化

させることなく、出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも微力ながら、協力をさせていただきます。いただければと考えております。



震災遺構・浪江町立請戸小学校  
福島県での作業風景と集合写真



## 総代長新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

令和2年初頭に、中国武漢で発生した新型コロナウイルスが世界に広まり、丸三年が経とうとしております。日本でも第八波と大変な思いをしております。しかし最近では、社会活動優先ということで、感染症予防対策を施しながら、進めなければなりません。個人で出来る対策を充分行い、感染しないように注意して参りましょう。

昨年2月24日、ロシアはウクライナに対する軍事侵攻に踏み切り、11の空港を含む80を超えるウクライナ施設を攻撃しました。プーチン大統領は、ウクライナがNATOに加入することを阻止するため等の理由を挙げ、軍事侵攻を正当化しようとしています。ウクライナの街は、ミサイルで破壊され、一般市民が多数犠牲になっています。犠牲者には、子どもや女性、お年寄りも大勢います。たくさんのウクライナの人々が外国へ避難し、悲しい思いと苦しさに耐えています。今すぐにも戦いを止め、平和な生活が出来るよう、願わざるを得ません。

次に昨年10月23日、仁叟寺恒例の研修旅行が実施されました。今回は一昨年秋に、仁叟寺渡辺啓司ご住職が、監院老師としてご上山された曹洞宗大本山總持寺へ、祝賀と激励を兼ねた参拝

旅行が、バス2台60名の参加者と共に行われました。有意義な体験が出来ました。

最後に、仁叟寺もみじ山古墳公園が、役員さんの草刈り等の作業により、素晴らしい里山に生まれ変わって参りました。これからも皆様方のご協力をお願いいたしたく、宜しくお願い申し上げます。

本年が檀信徒の皆様はじめ多くの方々にとってよき年になるよう、また菩提寺仁叟寺の興隆を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。合掌

筆者・矢島正義 総代長  
前群馬県宗務所護持会長



### 仁叟寺総代人一同

矢島正義	新井徳衛	篠崎和男
森 久	酒井範明	向井敏昭
三木和夫	齋藤悦男	神宮光信

#### 檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡を下さいますよう、お願いいたします。

## 行雲流水（編集後記）

編集人 住職代行 渡辺龍道

一昨年は、東堂本葬、住職の大本山總持寺監院就任などなど様々な出来事が続きました。師匠である仁叟寺住職が、大本山總持寺監院の重職を担い、当山の住職留守を代行としてお預かりさせていただき、一年以上が過ぎました。昨年は大本山總持寺様への研修参拝旅行も多くの参加者と共に行うことが出来ました。歴史と伝統ある仁叟寺をしっかりと護持させていただくと同時に、檀信徒始めお詣りに見えられた皆様が、ほっとする「あんしん やすらぎ」の空間を提供出来ればと、引き続き精進をさせていただく所存です。

住職をつとめる龍源寺は、境内地及び墓地の人災被災の復興に向け、法に依り肅々と、かつまた出来得る限りの尽力をいたします。檀信徒の皆様はじめ縁ある方々のお力添え、ご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶に代えさせていただきます。本年も宜しく願い申し上げます。合掌



昨年伊勢崎のお寺から来た龍源寺の愛猫ヒジキ♂9ヶ月